

科目番号	1 2 0 6	領域区分	感染制御学領域／滅菌供給管理学領域		
学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数	
2	前期	必修	2	3 0	
授業科目名 (英文)	感染制御学研究特論Ⅲ (Special topics on infection prevention and control Ⅲ)				
担当教員名	木村 哲／菅原 えりさ 岩澤 篤郎／吉田 理香／松村 有里子／梶浦 工／佐伯 康弘				
授業の概要及び到達目標					
本研究科での修士論文作成には、研究を行うことが必須である。そのため、感染制御学領域での研究対象の設定から研究の進め方、実施方法、まとめ方等に対して、領域横断的な指導も行えるよう、複数の研究指導教員による実験および研究指導を行う。さらに、本科履修後は以下に示すように研究特論Ⅳを実施する。 なお、研究特論Ⅰは、修士1年前期、研究特論Ⅱは、修士1年後期 研究特論Ⅲは、修士2年前期、研究特論Ⅳは、修士2年後期 を対象とする。 この継続的な指導により、学生個人の興味・関心に合致した各自の専門領域・研究テーマ設定に関連した論理思考が身につき、それに適した研究手法に対する学術文献の検索、研究テーマに適した解析方法の演習を通じて、論文作成に到るまでのプロセスを指導する。これにより、公表された学術論文がどのような過程の下で、作成されたものかを理解すると共に、学生個人の修士論文研究を遂行できることを到達目標とする。 感染制御学研究特論Ⅲでは、修士1年に実施した特論Ⅰ・Ⅱで習得した研究プロセスに基づき、各自の修士論文研究テーマに関連する領域の研究テーマを設定し、最適な研究手法の実施、先行文献等を元に、学生によるプレゼンテーションを中心に担当教員を含めたディスカッションにより講義を進める。					
準 備 学 習 等					
選択した研究テーマに関して、最適な研究計画を設定し、プレゼンテーションができるように準備して講義に臨むようにしてください。					
成績評価の方法	講義への取り組み方、プレゼンテーションおよびディスカッションにおける回答等、総合的に評価します。				
テキスト	なし				
参考図書	なし				

修士課程シラバス

備 考	研究特論Ⅲを取得しないとⅣを取得できません。 4人の担当教員は並列に講義を実施します。修士学生を4グループに分け、各グループがすべての教員の指導を受けるようにします。 オフィスアワーは、適宜対応します。事前にメールにて相談してください。																									
授 業 計 画																										
第1回 全体指導(グループ分け)																										
第2回～第13回 下表のように3回毎にローテートして、4人の教員の専門分野ごとに検討・討議を行い、学生個人の設定した研究テーマについて、研究の位置づけや意義、研究結果の波及効果について検討を行い、研究計画設定から研究遂行までのプロセスについて、より深く理解できるように討論を行います。																										
	<table><tr><td></td><td>菅原</td><td>岩澤</td><td>吉田</td><td>松村</td></tr><tr><td>第2回～第4回</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td>第5回～第7回</td><td>D</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td></tr><tr><td>第8回～第10回</td><td>C</td><td>D</td><td>A</td><td>B</td></tr><tr><td>第11回～第13回</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>A</td></tr></table>		菅原	岩澤	吉田	松村	第2回～第4回	A	B	C	D	第5回～第7回	D	A	B	C	第8回～第10回	C	D	A	B	第11回～第13回	B	C	D	A
	菅原	岩澤	吉田	松村																						
第2回～第4回	A	B	C	D																						
第5回～第7回	D	A	B	C																						
第8回～第10回	C	D	A	B																						
第11回～第13回	B	C	D	A																						
第14回～第15回 (木村 哲、梶浦 工、佐伯 康弘)																										
全体指導を実施し、学生個人の興味・関心に合致した専門領域・研究テーマに対して、研究特論Ⅳに結びつくように検討・討議を行います。																										